

疾患の治療と看護Ⅴ	2年・前期	1単位 15時間	教授 本吉美也子
科目カテゴリー	看護の対象理解	科目ナンバリング	32210342

1. 授業のねらい・概要

疾患の治療と看護Ⅴでは学生が、「消化器」疾患の治療と看護の知識を習得し、これらの疾患患者に対して根拠に基づいた看護を実践できる能力を養うことを目的とする。

2. 学修の到達目標

1. 上部・下部消化管の各疾患の病態生理，症状，検査，治療が説明できる。（D-2）
2. 消化管疾患（急性期）の患者に対する看護のポイントを説明できる。（D-2）
3. 肝臓・胆管系・膵臓疾患の各疾患の病態生理，症状，検査，治療を説明できる。（D-2）
4. 消化管疾患（慢性期）の患者に対する看護のポイントを説明できる。（D-2）
5. 肝臓・胆管系・膵臓疾患患者に対する看護のポイントを説明できる。（D-2）
6. ストーマのある患者の看護のポイントを説明できる。（D-2）

3. 授業の進め方

テキストに基づいた講義を中心に進める。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして授業前の小テストをおこなう。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Google Classroom, Gmail等による学習課題の提示・解説。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	上部消化管の疾患と治療 (P130～163)	講義	予習：上部消化管の構造と機能を復習しておく（P16～23） 復習：上部消化管腫瘍の治療についてまとめる。	本吉美也子
2	下部消化管の疾患と治療（P163～204）	講義	予習：下部消化管の構造と機能を復習しておく（P24～31） 復習：下部消化管腫瘍の治療についてまとめる。	本吉
3	消化管疾患（急性期）患者の看護	講義	予習：教科書P264～266を読み急性期消化器疾患患者の看護のポイントを3つまとめる。 復習：胃がん切除患者の看護のポイントをまとめる。	本吉
4	肝臓・胆嚢の疾患と治療（P205～245）	講義	予習：肝臓・胆道系の構造と機能を復習しておく（P31～36） 復習：肝臓疾患の治療についてまとめる。	本吉
5	消化管疾患（慢性期）患者の看護	講義	予習：教科書P264～266を読み慢性期消化器疾患患者の看護のポイントを2つまとめる。 復習：慢性期炎症性腸疾患患者の看護	本吉

			のポイントをまとめる。	
6	膵臓の疾患と治療，急性腹症 (P248～254)	講義	予習：膵臓の構造と機能を復習しておく (P36～38) 復習：膵臓疾患の治療についてまとめる。	本吉
7	肝臓疾患患者の看護 (P402～420)	講義	予習：教科書 P2～3 を読み肝硬変患者や家族に対して看護師ができることをまとめる。 復習：肝硬変患者の看護のポイントをまとめる。	本吉
8	ストーマケア (P470～488) 定期試験	講義 試験	予習：教科書 P473 を読みストーマ造設術患者の術前オリエンテーションの内容 5 つをまとめる。 復習：試験で間違ったところを復習する。	本吉

5. 成績評価の方法・基準

予習内容の小テストを各授業冒頭に行う (2点 x 8回 = 16点)。

定期試験 (受験資格は3分の2以上の出席した者) の配点は84点。

小テストの総合点と定期試験の点数の合計で成績を評価する。定期試験の出題範囲は授業で取り扱った内容全てとする。

合格基準 (60%) に満たない場合には、単位認定できない。評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況をルーブリック評価表を基に、4段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価表に関する詳細は、第1回講義内で別途説明する。

定期試験の出題範囲および出題方法等は、事前に口頭で提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：南川雅子 他 (2025) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [5] 消化器 第16版 医学書院

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲および事前事後学修 (学修課題) について、最低90分の予習および復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

遅刻、欠席ならびに授業中の私語、許可の無い教室の出入り、授業に関係ない言動は慎むこと。

受講前、受講後も必要に応じて人体の構造と機能Ⅲ、病理学、臨床検査学の復習をすること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

小テストの解説は講義内で行う。本試験の結果と解答については後日掲示または、GoogleClassroom・Gmail等を用いて解説する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして講義を行う。